

Poco Pap Poco ぽこあぽこ

年頭にあたって

理事長 下村 卓司

新春のお慶びを謹んで申し上げます。

さて、昨年は日本国民にとり大きな苦しみを背負うことになった年でした。それは、年末のテレビの特番でも連日報道されていた東日本大震災による被害です。その映像を見る度に人間の無力さを痛感したり、人間の強さに驚嘆したりしていました。ついさっきまで存在していた当たり前の日常が、自然災害により本当に一瞬のうちに奪われてしまったのです。

しかし、その困難を真正面から受け止め、我慢強く着実に前進していく様は、人間が本来内在している強さの証明であるように感じました。それとともに、当たり前前に暮らしている我々の日常がいかに大切かということを確認させられた災害でした。

また、人は人がいなければ生きていけない、他者に生かされているのだということも再確認させられました。本当に多くの国民がああ震災により多くのことを再確認させられたことでしょう。「絆」という昨年のキーワードでも明らかのように、人を大切にすることが、自分を大切にすることに繋がるのだということを変更して痛感しました。

我が法人の屋号である「以和貴会」は、聖徳太子の教えである「和を以て貴ぶ」からの引用であることから、今年は初心に帰り、人との繋がりがつまりは「縁」というものを今まで以上に大切にしたいと考えます。

さて、今年は「障害者総合福祉法」の全体像が見えてくる予定ですが、福祉業界は「税と社会保障一体改革」という大きなうねりの中にあり、「どこに向かうのか?」「乗っている船は沈没しないのか?」「船長は変わらないのか?」「船長はイタリアの船長のように逃げ出さないのか?」等々気がかりなことが山積しています。

しかし、前述の如く、人を信じ、人を愛し、人を助け、人に助けられながら日々感謝し、日常を大切にすることで不透明な現世を心豊かに過ごしたいと考えておりますので、どうぞ今年も旧年同様宜しくお願い申し上げます。

最後に、読者の皆様のご健康とご健勝をご祈念するとともに、今年も変わらぬご指導ご鞭撻をいただきますようお願いを申し上げます、昇竜の年の年頭のご挨拶とさせていただきます。

冬 期 研 修

～不適切な関わりをなくすために～

12月28日

平成24年10月に障害者虐待防止法が施行される事が決まり、スタッフ間でも「不適切な関わり」についての話題も多く聞くようになりました。

そこで今回、福島より市川和彦先生に来ていただき、「怒りのコントロール」「ホールディング（自分の気持ちをコントロール出来なくなった利用者様に怪我なく落ち着いていただく方法）」を学びました。

市川先生は、現在会津大学短期大学の社会福祉学科で教授をされていますが、以前は児童養護施設や知的障害者施設で支援員をされた経験もあり、すぐにでも実践できる話をうかがうことが出来ました。

支援のプロと言われても不安も多く、いつも笑顔で接したい・優しく接したいと思いつつも出来ない日もあります。スタッフそれぞれが自分の心の中で常に葛藤し、支援方法で疑問に思う事も多かったのですが、再度私たちの行う支援を見直す事が出来ました。

支援方法で悩む事が多い毎日ですが、「悩み続けて下さい。これでいいと思わずに悩み続ける事が大切なのです。」という市川先生の言葉に安心し勇気づけられました。

一人で悩むのではなく、その事を事例としてスタッフ全員で考え悩む事が大切で、その中から一人一人の利用者様にとって一番良い支援方法を見つけて行く事が必要なのだと教えられました。

利用者が笑顔で過ごす事が出来るように、今回の研修で学んだ事を忘れずに実行したいと思います。



講師 市川 和彦先生(社会福祉士・産業カウンセラー)
東北福祉大学社会福祉学部卒業
知的障害者施設にて生活支援員として勤務
知的障害児施設にて児童指導員として勤務
その後、数々の大学で講師をされ平成23年10月より
会津大学短期大学部・社会福祉学科教授

研修担当 福本優子

香芝ふれあいフェスタ

11月 6日

当日は、天気が不安定な中、大勢のお客様が来てくださり大盛況でした。今年はゆらくの里各作業班の商品が充実していて、品数も豊富で売り場がとても賑やかになりました。

「今人・我楽」からは粉から作ったパンとテミルプロジェクトの宣伝を兼ねて、パンとクッキーをメインに販売しました。恒例の綿菓子販売も、悪天候の中でも行列ができるほど好評でした。

来年も、たくさんの方に来ていただけるように計画したいと思います。



クリスマス会

12月10日

今年度は販売スペースと一体となった装飾・展示を行い、昨年度とは違った雰囲気を作り上げることが出来ました。

今回、地域から多くの方が来場して下さったことをとてもうれしく思っています。香芝東中学校吹奏楽部の皆様・RCI香芝ゴスペルチャーチの皆様の発表もすばらしいものでした。クリスマス会を通してできた地域の方々とのこうした繋がりを、今後も大切にしていきたいと思えます。各部署の演目やピアノ演奏、家族会の皆様の演目でも、観客の方々に一緒に御参加頂くことで、みんなが楽しめるクリスマス会になりました。ご協力ありがとうございました。



第39回奈良県障害者作品展

12月3日～8日



第39回奈良県障害者作品展に、日頃から作業活動で取り組まれておられる作品を出展しました。その中で絵画作品の「空から見た奈良の

都」が優秀賞に選ばれました。山や木、町並みを忠実にひとつひとつ丁寧に描かれた大作です。その他にも、筒状の新聞紙を幾つも張り合わせた「だんじりやぐら」や、ビーズを丁寧に貼り付けて美しい絵画に仕上げたものなど、全て力作ばかりです。

今後も利用者様の個性溢れる作品に期待して下さい。

(右写真:授賞式の様子)



新年会

1月11日



年が明けて最初の行事である「新年会」は、ボランティアの方々にもお手伝いいただき、餅つきで始まりしました。ついて丸めた餅はぜんざいに入れたり、またきな粉、醤油をつけたりなどしておいしくいただきました。

昼食はお鍋を堪能し、午後からは、初もうで、書初め、映画「ポケットモンスター」上映会で、利用者様に楽しんでいただきました。

今年もどうかよい一年でありますように…

白ゆり会様 いつもありがとうございます。



今年で19回目となりました「白ゆり会」様からの雑巾寄贈が、12月16日に行われました。

「白ゆり会」様は、雑巾寄贈のみでなく、施設で行われます行事（夏祭り、クリスマス会など）におきましても、長年にわたり多大なご協力をいただいております。

これからも末永く、ゆらくの里のご利用者のために御活動いただければと思います。

ありがとうございました。

《賛助会員ありがとうございました》

多くの方よりご寄附いただきありがとうございます。皆様方からの寄付を施設整備等、有効に活用させていただき、ご利用者のために使用させていただきます。

《ゆらくの里》

樋田稔枝、宮地恵美子、原田賢三、木村幸子、榎木勇、大上供栄、西風美智子、西田清、高木清治、井口肇代、大場利子、山下親秀、久世博子、平野繁樹、山本弘義、川北司朗、川本正矩、沖野博

《地域事業》

平田義美

《業者ほか》

奈良市在住様、(株)ステップワン、(株)エスエヌシー、船木二男、テラセ訪問美容、(株)老松園、林硝子(株)、クボタ食品、上村元成

(順不同、敬称略)

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。

寄付金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

新年もあけて早や1カ月が経ちました。今年は4月に法律や報酬が大きく変わる予定で、準備にバタバタする毎日です。法人として今できることをしっかり行い、ご利用者様に最大限のサービスを提供していきます。皆様方のお力添えよろしくお願い申し上げます。

発行： 社会福祉法人 以和貴会

住所： 〒639-0261

奈良県香芝市尼寺616番地

編集責任者： 理事長 下村 卓司

Mail： office@yuraku.or.jp

発行： 平成24年2月